

9月9日は救急の日

あなたの応急手当が命を救う



救急車が到着するまでの
応急手当が大切です

けがや病気の中には、そのまましておくと状態の悪化を招き、生命が危機に陥るものがあります。

呼吸停止した場合、人工呼吸や心肺蘇生法を早くすればするほど蘇生する割合が高くなり、二分後では約九〇%の確率で蘇生します。しかし、五分後では二五%、十分以上経過するとほとんどゼロになり、死に至ります。

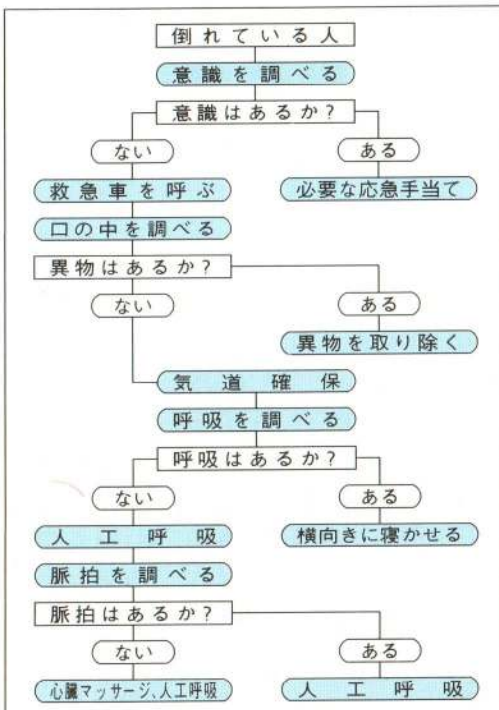
脳が酸素なしで生きていられる時間はわずか三、四分といわれています。すべての病気やけがが、呼吸停止を伴

つなど重いものではありませんが、市内で、その時間内に救急車が到着できる範囲は限られています。そこで、救急車が到着するまで、その場に居合わせた「あなた」による一刻も早い適切な応急手当が必要となります。

応急手当で講習を
受講しませんか

応急手当では、基礎をマスターさえすればだれにでもできます。大館広域消防署では、応急手当での基礎についてのパンフレットを準備しているほか、中央公民館で応急手当で講習（上級救命）を開催するとともに、町内会や事業所などの単位で普通救命講習を実施しています。中央公民館での講習を受講希望のかたは、中央公民館（☎42-4369）へ、町内会単位などで受講を希望する場合は大館広域消防署救急隊（☎43-4151）へお問い合わせください。

救命処置の手順



☎ 広報おおだて 平成8年9月1日号(No660)
 発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地
 ☎ 0186-49-3111
 編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)
 ☎ 広報おおだては再生紙を使用しています。

